

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|-----------------------|-----------|----------|
| 事業所番号 | 2492700113 | | |
| 法人名 | 株式会社フロンティアの介護 | | |
| 事業所名 | グループホーム たきの憩 | | |
| 所在地 | 三重県多気郡大台町上真手町上真手405番地 | | |
| 自己評価作成日 | 令和4年10月30日 | 評価結果市町提出日 | 令和5年1月6日 |

※事業所の基本情報は、介護サービス情報公表システムページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

| | |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | https://www.kaizokensaku.mhlw.go.jp/24/index.php?action=kouhyou_detail_022_kihon=true&JigvosvoCd=2492700113-00&ServiceCd=320 |
|----------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | |
|-------|-------------------|
| 評価機関名 | 社会福祉法人 三重県社会福祉協議会 |
| 所在地 | 津市桜橋2丁目131 |
| 訪問調査日 | 令和4年12月6日 |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

緑いっぱいの素敵な自然の中、笑い声と笑顔いっぱいの施設です。年間通しその季節の草花鑑賞や美味しい季節の食材を使用しておやつ・食事レクと職員一同努めさせていただいています。
 コロナ禍の中、外部との接触も避け面会も制限しており施設として力を入れていることは、ブログ・インスタ等で日々の生活の様子をご家族様に見て頂けるように毎日更新させて頂いています。また、ご利用者様に無理のない範囲の役割等を検討行い、元気にお過ごし頂く事を大切に笑顔の絶えないホームでという思いを共有し、全職員で取り組んでおります。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

全国で80か所以上、三重県でも4か所の介護施設を展開する事業所である。豊かな自然に囲まれゆったりとした環境の中で、能力の回復・維持・予防を支援する理学療養士、健康の基本となる食と栄養を支持する管理栄養士、FT(機能)訓練として日々、歩行練習や立位の練習を行ないADLの低下を予防しているスペシャリストにささえられている。一人ひとりのふれあいを通じてその人の個性を大切にして思いやりをもって対応している。自粛された日常生活に毎月、楽しみのある行事を企画し、笑顔を取り戻し、これからも笑顔の花が咲くようにと支援を続ける設立9年目の事業所である。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | 項目 | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 |
|----|--|----|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) ○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) ○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) ○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) ○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) ○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 66 | 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12) ○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う ○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28) ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------|-----|---|---|--|---|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | (1) | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 毎朝、出勤時全員で朝礼を行い、最後に理念・心得・接遇を唱和し共有してから業務に取り組んでいる。毎月全体会議の中で事業所理念を芯として話し合い地域密着のサービスの実践に繋げている。 | 法人理念は、面談室・リビングに掲示してある。常に笑顔で支援出来る態度・行動・身だしなみ、一日数回鏡で顔を見たりして笑顔が出るように努めている。また、全体会議で毎月、理念を唱和して意識付けを行なっている。 | |
| 2 | (2) | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 新型コロナ感染防止の為、外部との交流は一時中止させて頂いている。施設の中庭のすぐ近くに近所様の栗の木、柿木、梅の木などがあり、収穫時期になると声をかけて下さるので収穫させて頂いている。 | コロナ禍で地域との付き合いは全くないが、自治会長に定期的に挨拶に行ったり、草刈りに参加している。近所の方の畑に柿・栗・みかん狩りを提供して頂き出掛けたりもしている。また、七夕の日には竹を持参してもらっている。 | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 新型コロナ感染防止の為、行政研修等リモートを活用し情報共有を図っているが地域の方々との交流は一時中止している。 | | |
| 4 | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 昨年度同様、新型コロナ感染防止の為、2ヶ月に一度の運営推進会議は中止しているが議事録はご家族様、行政、地区会長様に送付させて頂き、ご意見・ご要望等がおありの場合にはご連絡頂くようお願いさせて頂いている。 | 2年前よりコロナ禍の為、会議は中止している。事業所で入居者情報・事故報告・ヒヤリハット報告・行事報告の会議録を作成し、参加者に送付しているが意見要望は無い状況である。 | 各議題の内容結果の詳細を記入し、参加者に配布して意見要望が頂けるよう期待する。 |
| 5 | (4) | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる | 日頃より役場担当者と電話等で密に連絡を取っており協力関係を築き取り組んでいる。又、役場主催の研修(リモート)にも参加させて頂き関係体制は構築されている。 | 生活保護課との連絡、入居者情報、運営推進会議録、介護関係の相談等に訪れ、市主催の研修会に参加したりして市担当者とは協力関係を築くように努めている。 | |
| 6 | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 職員全員、身体拘束ゼロを念頭に取り組んでおり、身体拘束を行わないように意識を持ち業務に取り組んでいる。定期的に勉強会を行い全職員にて話し合い、知識を深め、身体拘束ゼロに取り組んでいる。 | 虐待、身体拘束廃止委員会を3ヶ月毎に法人資料に基づきおこなっている。また、毎月コンプライアンス委員会を開催し、事故防止委員会でヒヤリハットを使用し拘束のないケアを職員間で話し合っている。 | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 毎月全体会議にて虐待防止勉強会を行い取り組んでいる。リモート研修などでの情報を詳細に朝礼等でも説明し対応策等の共有を行っている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|-----|--|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | ご利用者様の権利を守る為、サービス・虐待防止・個々の必要性について会議の中で話し合い、制限されている方々の支援体制を整えるよう努めている。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 契約時、重要事項の説明を口頭で伝え十分に理解をして頂ける様、具体例を交え説明を行う。変更等の場合、ご家族様に伝え説明の場を設け同意を得ている。 | | |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | ご家族様、ご利用者様からの要望・相談は指定の様式に記入し、施設での対応・解決が出来るよう努め内容によっては法人での対応も行っている。 | 通信だよりから意見があったり、面会時、日常の電話連絡で把握に努めている。家族からは出来るだけ機能を落とさない支援をしてほしい、利用者からは食べたい物を希望する意見がある。 | |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 毎月、全体会議・ユニット会議等で意見交換を行い、改善・修正をし取り組む様に心掛けている。意見等は本部に必ず伝えている。 | 管理者は、普段の支援中、職員の様子に声掛けをして意見や相談を受け付け面談している。全体会議やユニット会議でも意見を把握する機会があり、利用者の特技を生かして何かを作ってもらう提案があり、今年は干支の大きなちぎり絵が作成できた。 | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 各種資格手当の支給や各研修の実施、講座受講料の免除などスキルアップ等支援に努めている。給料増加に繋がる為、職員個々のやる気を伸ばしやりがいのある環境づくりに努めている。 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 職員の質の向上に努め、勉強会等、全体会議の中で実施。新人、管理者、リーダー等は法人内のリモート研修にて向上や情報交換など共有を行っている。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | コロナ禍の為、同業者との交流や訪問などは出来ていないが電話、リモートでの交流、勉強会などで情報収集・情報共有を行っている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------|-----|--|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | ご利用者様の情報の把握、意向や悩み等、傾聴し不安を取り除き、安心して施設で過ごして頂けるように心掛けている。 | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | ご家族様の要望やこれまでの環境や心境の傾聴を行い、思いを共有する事で共に協力していける関係づくりを心掛ける。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 事前情報収集、面談を行い双方の意向を把握しサービス内容の提案、協議を行い、必要があれば役場地域包括支援センターや他事業所への相談、対応を行っている。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | ご利用者様の日常生活の中でしたい事、出来る事、得意な事を傾聴し共にいきご家庭に近い関係が築けるように努めている。 | | |
| 19 | | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 定期的にご家族様と連絡を取り、ご利用者様とのきずなが途切れない様報共有を図り、支援内容の検討をし、双方が同じ思いでご利用者様に支援で来るように努めている。 | | |
| 20 | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | コロナ禍の為、外出が出来ていない。面会は中止ではないが距離をおいての面会となっている。手紙や電話等、ご利用者様の要望に応じて対応を行っている。 | 携帯電話をかけた後、年賀状を書き送付したり、近所の知人が訪ねて来る日もある。家族の協力でお墓参りに行く方もいる。また、受診の帰りに実家に寄り寄りして支援に努めている。 | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | ご利用者様の性格や好みを把握し座席やテーブル配置を考え、利用者様が楽しく過ごせるよう取り組んでいる。又、月2回のレクリエーションでクエストの食事レクやゲームレクを行い、ご利用者様同士の関係を良好に保つよう努めている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 必要に応じて連絡を取り、様子や心境について傾聴行い、相談や支援があれば協力できるように努める。これまで築いてきた関係性を大切に支援に努めている。 | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | (9) | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 日常生活の中で利用者様の思いや悩み、意向の把握をし傾聴行い検討し対応行っている。ご本人様と施設だけで終わらせる事なく、ご家族様に相談させて頂く事もある。 | 日々の生活の中で声掛けを大切にし、利用者様の思いを聞き、常に利用者が何をしたいのか、食べたいのか、何が必要でどうしたいかを考えて把握に努めている。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | ご利用者様、ご家族様、ケアマネージャーに生活歴や環境等の情報収集を協力して頂き、把握に努めている。又、日々の会話等でも情報収集行い、職員間での情報共有を怠らないように努めている。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 毎日のバイタルチェック、表情・動作・会話などでご利用者様の身心の状態を把握し、対応・支援に努めている。些細な変化であっても主治医・ご家族様に報告行い、相談させて頂き対応させて頂いている。 | | |
| 26 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 介護計画書の作成前にご利用者様、ご家族様の意向を傾聴しサービス内容を全職員で話し合い、検討し、主治医・看護師の意見も取り入れ、ADL向上になるよう作成している。 | 事前に家族に電話で意向を聞き、モニタリングを毎月、職員が評価して、6ヶ月毎にサービス担当者会議を開催し見直しを行っている。状態の変化があればその都度、見直し現状に即した介護計画を作成している。 | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 日常の中の気づき等、記録に残し、申し送り等で情報伝達し共有している。記録を参考にし対応、サービスの見直しも行っている。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | コロナ禍の為、通院介助についてはご利用者様やご家族様の状況に応じ、施設で可能な限り対応を行う様に努めている。買い物等の支援についてはコロナ禍の為、現在一時中止させて頂いている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | コロナ禍の為外部との接触は中止しているが、施設内での毎月のイベントを行っており、楽しんで頂ける様支援している。 | | |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | ご利用者様、ご家族様の通院、薬など負担軽減を図る為、施設提携の主治医の移行案内も行っている。専門医や馴染みの主治医との関係が継続できるよう情報提供し支援している。 | 利用者全員が協力医(内科・歯科)の診察を受診しており、月1回の訪問診療、口腔ケアがある。協力医の24時間対応に応じた往診診療は、利用者・家族の大きな安心となっている。受診は事業所でも対応し、結果報告はその都度電話で家族に行なっている。 | |
| 31 | | ○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 看護記録、申し送り等でご利用者様の状態を把握し、介護職員との情報共有や意見交換を行い処置や受診等、ご利用者様に応じた適切な対応が出来るように取り組んでいる。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | ご利用者様入院時、面会及び電話連絡等で病院関係者から状態を聴取し、連携をとり早期退院に向けて取り組んでいる。 | | |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 入居時に重度化に対する指針の説明を行っている。ご利用者様の状態に合わせてその都度、ご家族様と対応を協議し、終末期には主治医との相談や説明の場を設け支援を行っている。 | 入居時に指針で家族に説明し意向を聞いている。その状態に陥った場合は主治医・家族と再度話し合い、意向を確認し同意書を交わしている。看取りの経験はあり、職員は看取りの経験を参考にしたり、資料を取り寄せ毎月、勉強会を行ないチームで支援に取り組んでいる。 | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 定期的に勉強会をしており、適切な対応が出来るよう取り組んでいる。主治医・管理者・リーダーは24時間連絡可能となっており、適切な指示・対応が受けられる体制を整えている。 | | |
| 35 | (13) | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 災害対策・消防訓練等実施しており、行政に相談し対策助言を頂き、地域消防団とも連携をとっている。 | 防災訓練は年2回消防署指導の下、通報・避難・消火・夜間想定訓練を行っている。緊急通報網・役割分担は決めてあり、AEDも設置してある。備蓄は3日分の非常食・水・缶詰等、非常用品は発電機・ヘルメット等があり、避難場所はデイルームとなっている。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------------|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | ご利用者様個々の人格及び性格を把握し、一人一人に合った話し方・接し方で柔軟に対応し、個々を尊重し尊厳に配慮出来るように努めている。 | 特に、この地域は方言がきついので言葉使いに気を付けて、利用者一人ひとりに伝わる話し方を心掛けている。また、法人開催の接遇マナーにも参加し、個々の人格を尊重・配慮している。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 日常の中でのコミュニケーションで、ご利用者様の思い・希望を傾聴し、出来る限り希望が叶えられる様に対応している。その都度、自己にて決定して頂けるように取り組んでいる。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 一人一人のペースを大切にし、ご利用者様の要望を傾聴し過ごしやすい生活をして頂けるように取り組んでいる。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 毎日、整容を支援し清潔を保ち、日常生活を過ごして頂いている。四季に応じた適切な身だしなみを支援している。 | | |
| 40 | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 毎日のメニュー表をご利用者様の見える所に提示し、食事の楽しみの一つになっている。職員と一緒に準備に片づけを役割分担し、やりがいを持ってもらう。 | 献立は法人の栄養管理士が作成し食材も調達され、それによって職員が調理している。旬の食材を取り入れた献立や季節毎の行事食もあり、楽しい食事となっている。利用者は役割に応じて職員の手伝いを行なっている。 | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | カロリー計算されたメニューを提供し、ご利用者様個々に応じた食事形態や量に調整し、その時々状態を確認しながら支援を行っている。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 毎食後、口腔ケアの実施を行っている。不具合についても支援の必要な方には介助を行い、歯科医と相談も行い、清潔保持に取り組んでいる。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | ADLの向上の為、一人一人の力や排泄パターン・習慣を把握し、個々の対応に努め、支援を行っている。 | 利用者は便・尿意を訴える方が多く、排泄管理で個々の状態を把握している。機能訓練を兼ねて排泄はトイレ（ポータブルトイレも利用）で行う様トイレ誘導し、現状維持を確保しつつ、自立に向けた支援をしている。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 申し送りや排便状況の共有を行い、医師の指示のもと対応を実施している。水分をしっかりと取り、身体を動かす機会を取り入れて頂くよう努めている。 | | |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている | 定期的な入浴日や希望やタイミングに合わせて、出来る限り対応できるよう努めている。個々の習慣などに配慮しながら入浴して頂くよう支援している。 | 入浴は週2回、午前中を原則としているが、汚染や特に要望があれば柔軟に対応している。お風呂が楽しく思えるよう各種入浴剤を使用し、全員がゆったりと湯舟に浸かり個々に添った支援をしている。 | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | ご利用者様一人一人の生活習慣に合わせて、安心して過ごして頂けるように環境を整え支援している。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 処方箋はファイリングして直ぐに情報確認出来るようにしてあり、症状の変化に対応できるように理解している。又、変更があった場合は申し送りで伝え記録し情報共有を行っている。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 一人一人の好みや身体能力に合った家事など色々役割分担して頂き日常生活に張り合いや喜びを感じて頂ける様支援している。 | | |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | コロナ禍の為、外出支援等は中止しているが、施設内の庭を使用し散歩や日光浴等を行い、季節に応じて行事を行い、喜んで頂き、ご満足頂けるように取り組んでいる。 | コロナ禍で外出は自粛しているが、中庭で散歩・日光浴をしたり、季節毎に車窓ドライブを行なっている。また、近所の方の畑に、柿・栗・みかん等の収穫に出掛けている。また、病院の受診等で出来るだけ外気浴を楽しめるように支援している。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | ご利用者様、ご家族様の希望を傾聴し、同意して頂いて個別に所持している方もいる。能力に応じての対応、支援を行っている。 | | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | ご利用者様、ご家族様の事情に配慮し、対応を行っている。手紙や電話は要望に基づき自由に支援させて頂いている。 | | |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 共用の空間には四季に応じた飾りつけを行ったり、ご利用者様達の作成された工作を飾ったりしている。昼夜共に空調・照明の調整を行い、過ごしやすい空間づくりを工夫し努めている。 | コロナ禍の中で入室は出来なかったが、適度な広さのある廊下、天窓のある居間兼食堂を中心に明るい空間となっている。玄関は雨に当たらない様に車寄せが出来るエントランス作りになっている。 | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | ご利用者様達が気の合った方々と思いにリラックスされて過ごして頂けるように環境整備も行っている。 | | |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | ご利用者様が自宅と同じように過ごして頂けるように使い慣れた物など設置するなどし、身体能力に合った環境整備も行っている。 | コロナ禍の中で入室は出来なかったが、ベッドや備え付けのタンスなど、収納・移動等が機能的に造られている。仏壇も置かれ、どの部屋も自分らしさを大切に工夫している。 | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | ご利用者様のADLに応じた環境作りを行い支援している。一人一人が自主的に取り組めるように提示物を工夫したり、環境を整えたり、自立支援に取り組んでいる。 | | |